

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人社団恵正会	事業所名	看護小規模多機能ホームやすらぎ
所在地	(〒 731- 0021) 広島市安佐北区可部5丁目9-3		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療的ケアの必要度が高い要介護状態（要介護1～5）のご利用者の療養生活から看取りまでのサービスを提供します。 ・ がんや難病の末期に対応し、緩和ケアやターミナルケアを主治医と連携して実施します。 ・ がんや難病の末期で自宅での看取りが難しい場合は、同一建物内の賃貸住宅への入居もお取次ぎ可能です。 ・ 泊りは9室あり、空き状況により体調不良や介護者の急用等で必要な場合は急遽の泊りも対応可能です。 ・ 医療的ケアの実績（医療用麻薬を含む疼痛ケア、点滴、痰吸引、胃ろう、経鼻栄養、カテーテル管理、酸素吸入、褥瘡処置、ストマ等） ・ ご利用者の「自分らしさ、自分らしく」に寄り添う介護・看護職員によるサービスを専属ケアマネジャーが計画します。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 1 月 31 日	従業者等自己評価 実施人数	(20) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 2 月 13 日	出席人数（合計）	(7) 人	※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (2) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員 (1) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 () 人 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の家族 (1) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 知見を有する者 (1) 人 <input type="checkbox"/> その他 () 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価 (令和5年度より、看護小規模多機能型居宅介護の様式へ変更したため前回の改善計画は空欄)

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)			
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)		
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)		
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)		
III. 結果評価 (評価項目 42～44)			

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護の連携により、利用者本人だけでなく家族へのケアも提供され、安心と信頼を得られている。 ・利用者ニーズの把握に努められ、その意向に応えるべく取り組みが素晴らしく、その姿勢の継続が重要である。 ・各評価項目に対して、自己評価があまり高くない事案があるが、これは職員数の不足によるものか、あるいは職員個々の意欲・意識の問題なのか、また別の要因なのか内部で話し合われたらよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①事業所自己評価の評価方法について再度研修を行う ②日々のミーティングの時間で事業所内カンファレンスを行い、ご利用者・ご家族の意向やニーズを把握し共有する ③サービス担当者会議を適宜開催する 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に可視化することにより、振り返りもしやすくなる。 ・利用者や家族目線での対応を意識されている。 ・本人、家族が評価しやすい目標にされると達成に向けた本人、家族の意欲につながるので、目安はわかりやすくする。 	④サービス計画書の目標を本人・家族にもわかりやすい表記で達成したことがわかる指標や言葉で設定する
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員もどんな職員が働いているのか知るきっかけになる。 ・管理者以外の職員も交代で全員参加できると良い。 	⑤運営推進会議に管理者と計画作成担当者以外の職員を参加できるようにする
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で地域の実情をしっかりと把握されているので、その情報を職員間で共有し地域に還元できたら良い。 	⑥運営推進会議で得た、地域情報を職員と共有し地域活動につなげる
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	今後も地域の利用者ニーズに添ったケアを提供し、その人らしい最期を迎えるときまで支援を継続できるよう期待する。	⑦健全で安定した事業継続を行う	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します